

ホームと家族を結ぶ

おとぎれ156号

社会福祉法人 任運社 特別養護老人ホーム 任運荘

〒879-6601 大分県豊後大野市緒方町馬場 796 番地 1

事務室：0974(42)2338 寮母室：0974(42)3322

任運社総合相談支援センター 0974(42)4211

任運荘ホームヘルパーステーション 0974(42)3351

※ 任運社内では介護職を「寮母」と呼びます

F A X : 0974(42)4187

E-mail : info@ninun.or.jp

<http://ninun.or.jp>

編集・発行

任運荘広報委員会

社会福祉法人

任運社 敬老会

『長生きは最良の善』

9月16日(月)の「敬老の日」に「任運社敬老会」が開催されました。

敬老会はデイサービスセンターななみ塾ホールで午後2時から始まり任運荘、隣々會、ななみ塾の該当する利用者が、上寿、白寿祝、米寿祝、傘寿、喜寿、古希祝、緑寿、還暦祝の敬祝を受けられました。

主催者挨拶では任運社理事長廣本賢郎より

「多くの参加があり盛大に行われる事に感謝申し上げます。ひとつの人生の節目で祝うものであり今年には28名の表彰があります。還暦から上寿、109歳の佐藤龜代さんまで多くの節目のお祝いの方々に敬意を表します。長生きは最良の善と申します。今日の敬老の日を期に今一度、思いを新たに、任運社もこの思いで利用者の皆さんのお世話にあたりたいと思います。」と敬祝の言葉を述べました。

続いて来賓紹介と祝辞をいただきました。馬場区長 佐藤俊郎様からは「今年も敬老の日を迎えられ大変嬉しいと思います。『苦労された皆様、まだまだ人生を楽しんでください』と挨拶いただきました。次に馬場区の老人会会長の工藤隆雄からは「私たち老人クラブは『百働会』へひやくとうかい」といいます。百まで働くという意味です。元気で働ける事が目標であることから、この名をつけ

ました。いつまでも若い心を持ち、人生これからという気持ちで、なおいつそう長寿を目指して頑張ってください。ちなみに私は昭和26年台川小学校を卒業しましたが、今日109歳の佐藤龜代さんのご主人が当時、私たちの校長先生でした。懐かしく思いました。」と挨拶いただきました。

任運荘で敬祝を受けたのは左記の方々です。

- | | |
|--------------|--------|
| 【上寿】 佐藤 龜代さん | (109歳) |
| 見玉 ヤチヨさん | (101歳) |
| 【白寿】 衛藤 文子さん | (99歳) |
| 【米寿】 河原 雪夫さん | (88歳) |
| 芦刈 トヨさん | (88歳) |
| 平井 綾子さん | (88歳) |
| 佐藤 秀子さん | (88歳) |
| 和田 静子さん | (88歳) |
| 衛藤 八枝喜さん | (88歳) |
| 引田 ケサさん | (88歳) |
| 岡田 みち子さん | (88歳) |
| 渡邊 年子さん | (88歳) |
| 柴田 民子さん | (88歳) |



上寿のお祝いを受けた
109歳の佐藤龜代さん。
おめでとーいといひます。

上寿のお祝いを受けた
101歳の見玉ヤチヨさん。
おめでとーいといひます。



米寿のお祝いを受けた河原雪夫さん。奥様もお祝いに駆けつけてくれました。



米寿のお祝いを受けた和田静子さん。ご家族も会場で参加されていました。



白寿のお祝いを受けた衛藤文子さん。11月には100歳を迎えられます。

受賞された皆さんはステージ上で一人ひとり、廣本理事長から敬祝状と記念品を受け取りました。受賞者の皆さんは笑顔で答えられました。また、感無量の面持ちで感激の涙を浮かべている受賞者もおられました。

続いて任運社からお祝いの品として、「昭和の名曲合唱集と日本昔話のDVD」が贈られ、代表として芦刈トヨさんが、笑顔で受け取られました。理事長から感想を聞かれて「重たい」と言われ会場は、和やかな雰囲気となりました。

恒例の利用者意見発表では、大化区の平井綾子さんが発表されました。「私は、久士知に生まれ大化に嫁ぎ、主人と稲作や牛飼、栗やレンコン作りも手がけ忙しくしていました。でも私が40歳の時、主人が亡くなり、生活が一変しました。元気が無くなり寂しい日々を送っていました。これはいけない！私がお家を守り先祖の魂を守っていかなといけん！と自分を奮い立たせたのです。本日、米寿のお祝いを迎えられたのも、皆さんのお陰です。くよくよしない事が長寿の秘訣ですね」と述べられました。



米寿の平井綾子さん。利用者意見発表の大役を務められました。



米寿の芦刈トヨさん。代表で任運社からお祝いの品を受け取りました。



米寿のお祝いを受けた渡邊年子さん。



米寿のお祝いを受けた岡田みち子さん。



米寿の佐藤芳子さん。ご家族も来てくれました。



米寿の柴田民子さん。クイズでは奮闘されました。



米寿の引田ケサさん。おめでとございます。



米寿の衛藤八枝喜さん。感激されたようですね。

最後は、皆さんお待ちかねのお楽しみ会が行われ、なごみ塾職員による『長寿早押しクイズ』が催されました。各施設から代表の回答者は、任運荘代表「柴田民子さん」、隣々舎代表「堀トミ子さん」なごみ塾代表「後藤敏武さん」の3名です。面白おかしくクイズが10問出され、皆さんの珍回答に会場は笑いの渦に包まれました。「竹から生まれたかぐや姫を、おじいさんは、どうしましたか？」の問題に「デートした」「羽衣を着せて天に帰らせた」など楽しい回答が出ました。優勝者には最高級の箱ティッシュが準備され、優勝は、堀トミ子さんでした。

最後に吉田施設長より「本日、敬老会の開催にあたり準備してきた実行委員の皆さん、そしてご多忙中にもかかわらず一緒に参加してくださいました。ご家族の皆さんに感謝申し上げます」と挨拶があり、敬老会は終了しました。

担当 森 園美

社会福祉法人

任運社初盆供養・盆踊り

8月16日(金)の18時30分より、初盆を迎えられた利用者を偲ぶ『任運社初盆供養・盆踊り』が行われました。夕方からの開催ではありませんが残暑が厳しく、また、任運荘の利用者で体調不良の方が多かったため、供養経は仏間で、盆踊りは各施設で行う事となりました。

任運荘で初盆を迎えられた11名の方々です。

玉田 房子 氏	(96 歳)
工藤 信之 氏	(85 歳)
波多野 ティ子 氏	(83 歳)
安部 文雄 氏	(87 歳)
吉野 秀子 氏	(93 歳)
柴田 フサ子 氏	(87 歳)
阿孫 三代子 氏	(86 歳)
引田 民子 氏	(94 歳)
小野 悦子 氏	(87 歳)
倉原 洋治 氏	(69 歳)
佐藤 富子 氏	(89 歳)



大福寺の東住職による供養経



焼香される高山ヒサコさん

供養経が終わると各施設にて盆踊りを行いました。利用者が作る輪の内側で、浴衣姿の女性職員が踊りました。今年も『しあわせ音頭』『ゆかた音頭』『火の国太鼓』の3曲を披露しました。利用者の中には、職員の踊りを見ながら一緒に手を動かしている方もいました。また、日本舞踊をされていた柴田民子さんは、職員の踊りの輪に入って、とても楽しそうに一緒に踊られました。賑やかな曲の『火の国太鼓』では、職員の『ハイ、ハイ、ハイ!』の掛け声を利用者は手拍子で答えて、任運荘のホールは熱気に包まれました。

3曲踊り終わると、水ようかんが振る舞われ、皆さん「おいしい」と言いながら、あつという間に召し上がりました。外に夕陽が迫る頃、ホールは明るく浴衣姿の寮母達を照らし元氣よくまた踊りました。

盆踊りの後は、楽しみにしていた花火大会です。今年は、なごみ塾の職員が花火師に仮装し、また吉野施設長が花火の打ち上げに合わせて太鼓を叩き、なごみ塾中庭で花火大会を盛り上げてくれました。打ちあがる花火を見て利用者は「わあ〜」や「きれいやな〜」と、あちらこちらから歓声があがっていました。

最後に吉野施設長が閉会の挨拶をし、無事に盆行事は終了しました。夜間にもかかわらずお越しくいただきました。ご家族・近隣の皆様方、本当にありがとうございました。

担当 高倉 智恵



面会に来られたご夫君と花火見物された三代智子さん。いい笑顔ですね。



姉妹で職員の踊りに手拍子してくれる羽田野キミ子さんと志賀フキエさん。



踊りの輪の中へ入り、職員と一緒に踊られ笑顔の柴田民子さん。

ふるさと訪問 後藤イサヲさん

7月23日(火)の午前に、後藤イサヲさんを軸丸の自宅へお連れしました。車に乗り込むと「どこに行くのかな?」と少し心配そうな様子でしたが、自宅に帰る事を伝えると「荷物を持ち帰っちゃらんと心配をされてました。自宅が近づくよ」と「あらっ」と見覚えのある景色に顔もほころび始め、自宅で待たれていたお子さんの顔を見ると、一段と笑顔で一杯でした。昼食も皆さんと一緒に召し上がり、懐かしい我が家で家族水入らず、楽しく過ごされました。

午後から職員がお迎えに行った際、娘さんに「早よ湯飲みを出さんな」と職員に気遣いを見せてくれました。娘さんから「義母は、自分の事は後回しで、いつも他の人に気遣いをしていた」と教えて頂き、後藤さんは、皆さんにお茶が行き届いたのを確認してから、お茶を口にされました。

帰るため車に乗り込むと、名残惜しそうに家を見ておられました。車中では「私が帰って来ん事を家族は知っちゃうんやろうか?」と、ご家族の心配をされました。職員が「大丈夫ですよ。それにお子さん達が、またふるさと訪問をしようと言われてましたよ」と伝えると「そうなの」と言われ、口元が緩み、笑みがこぼれました。

担当 高山 悦子



大好きなビールを飲みましたよ。



息子さん・娘さんと記念撮影です。

ふるさと訪問 佐藤ナミ子さん

9月5日(木)に、佐藤ナミ子さんのふるさと訪問を行いました。玄関で笑顔で「行ってきます」と言ってお出立しました。最初は車外の見慣れない風景に少し緊張した様子でしたが、ご実家の近くになると、だんだんと思い出してきたようで「岡本小学校の上の道を行くんで」と教えてくれました。

ご実家に到着すると、弟さんと甥っ子のお嫁さんが出迎えてくれました。弟さんの顔を見ると「あ、さあちゃん」と嬉しそうに呼びかけられました。仏壇の前でご先祖様に手を合わせお参りされていると、弟さんが昔のご家族の写真を持ってきてくれました。「これは誰かわかるかな?」「あーこれは〇〇ちゃんやな」など懐かしそうに写真を眺めていました。その後、弟さんとご家族やご親戚の近況話をされました。ご実家を後にする際、「また会いに行くけん、元気にしちよんなあよ」と弟さんが言うてくれ、甥っ子のお嫁さんは「また帰って来て下さいね」と声をかけてくれました。

ご実家を後にして嫁ぎ先の朝地町へ向かいました。ご自宅の近くにとても良く面倒をみてくれた方がいたと車中で話されました。その方はお亡くなりになりましたが、家族にも会いたいという佐藤さんの希望で家に何つてみました。突然の訪問でしたが、ご家族にもお嫁さんがおられ、佐藤さんは車の中からでしたがお嫁さんの顔を見て名前を呼ばれました。お嫁さんからは「おばさん、元気そうやね。変わつてないわ」と言われ、「うん、元気にしちよるよ。うち、今は緒方におつちよるけん、近くに来た時は寄つてな」と言われました。その後、ご自宅へ行き息子さんと会いました。息子さんは「また近いうちに会いに行くから、元気にしちよるん」と言われました。佐藤さんは、弟さんや息子さんと、ご近所さんに会うことができて、とても喜ばれました。

担当 文東 明美



弟の『さあちゃん』とご実家前で記念撮影



あんドーナツを美味しく召し上がりました。

外出ドライブ

～サーカス見物に行きました～

9月10日(火)に、大分市のパークプレイス駐車場で開催されている、『ハッピードリームサーカス大分公演』見物に行きました。参加された方は、羽田野キミ子さんと平井綾子さんの2名です。道中平井さんは「サーカスを見るのは、久しぶりや、何年ぶりかな」と話していました。

サーカス会場では、ジャグリングやファイヤーパフォーマンス、バイク・カースタントに空中ブランコの演目を見て「お～すごい」と言われ、拍手を送っていました。また、ピエロの仕草に笑いも出ており、とても楽しまれました。お二人とも「すばらしいわ。本当に楽しい。また見に行きたい」と興奮冷めやらぬ様子でした。

会場の外で『空中ブランコ』をされた演者の方と一緒に記念撮影しました。



空中ブランコのヒーローと記念撮影！とおきの一枚となりました。

さて、サーカス見物の後は昼食です。羽田野さんと平井さんは、毎月行う『利用者・職員対話会』にて「アジ寿司をお腹いっぱい食べたい」や「刺身を食べてい」と言われておりました。そこで、「お昼はお寿司屋さんに行きましようか」と尋ねると「はい！」と、笑顔で返事してくれました。お寿司屋さんに着くまでは、何を食べようかとの話で盛り上がりました。

お寿司屋さんに入店し席に着くと、羽田野キミ子さんは「私はお寿司屋さんに詳しいから一人で大丈夫ですよ」と言われ、念願のアジ寿司を注文されました。職員が「たくさん食べて下さいね」と声をかけると、「はい」と笑顔で答えられ、アジ寿司以外にもサバやマグロなどを注文されました。平井綾子さんも「美味しいな。私は貝も好きだから貝を食べよう」と言われ、食べたいお寿司を注文されていました。デザートまで召し上がり「もうお腹いっぱい。本当に美味しかった」と大変満足されたようで、お二人とも笑顔で言われてました。

昼食後は買い物に行きました。羽田野キミ子さんは、お姉さんの志賀フキエさんにお土産を買われ、平井綾子さんは、大好きな船を買われました。帰りの車中では、お二人から「本当に楽しい外出でした。ありがとうと言います」と感謝の言葉をいただき、無事に任運荘へ帰り着くことができました。

10月にもサーカス見物の予定があります。今度行かれる利用者にも楽しんでいただき、素敵な笑顔が見れる外出ドライブにしていきたいと思えます。

担当 宮崎 正規



念願だった、お寿司をお腹いっぱい食べました。アジ寿司が一番美味しかった。



『ハッピードリームサーカス』おかしな仕草のピエロ。



サーカスが始まる前の会場内にて羽田野キミ子さん・平井綾子さん。ワクワクしてました。

誕生者紹介

八月生

三谷 高明さん

いつも娘さんの面会を楽しみにされ、来られた時には目に涙を浮かべてられています。

担当寮母 馬場由希子

平井 綾子さん

敬老会では米寿のお祝いを受け「お世話になりながら、くよくよせずみんなと仲良く過ごしましょう」としっかりと意見発表されました。

担当寮母 文東明美

九月生

佐藤 秀子さん

入居から半年が経ち、運荘での生活にも慣れました。職員を見ると、優しい笑顔を見せてくれます。

担当寮母 工藤浩子

九月生

今年で101歳を迎えました。ご主人のご面会の時は目をよく開けられ、とても嬉しい表情を見せてくれます。

担当寮母 高橋みのり

佐藤 亀代さん

7月に体調を崩され入院しましたが、入院前のように元気になって無事に退院されました。109歳になりましたよ。

担当寮母 伊東奈保美

村上 昌子さん

歌が上手で、歌い終わると笑顔を見せてくれます。職員を気づかってくれ「ありがとう」と、いつも言ってくれます。

担当寮母 田村恵美

後藤 ツユ子さん

「私は出来ることは自分でやります」と頑張っています。先日、『荒城の月』を照れながらも上手に歌ってくれました。

担当寮母 羽田野弘美

十月生

佐藤 シズコさん

ご家族が面会に来られた時には、満面の笑みを見させてくれます。もちろん、寮母にも笑顔を見させてくれますよ。

担当寮母 馬場由希子

後藤 イサヲさん

お花と可愛いぬいぐるみが大好きです。ぬいぐるみを孫と言われ素直な笑顔に癒されます。

担当寮母 田村恵美

嶺 八千代さん

「あなた達はいつも大変やなあ」と職員を気づかってくれ、笑顔で声をかけてくれます。

担当寮母 佐藤美和

田部 八千代さん

若い頃から野菜作りが上手で品評会に入選もしました。お部屋には、小豆をより分けている写真を飾っています。

担当寮母 高山悦子

和田 静子さん

今年、米寿のお祝いをされました。「娘さんが作ってくれた膝掛けですよ」と声をかける「はい」と嬉しそうに答えてくれます。

担当寮母 長門昭子

つぶやき

河原 雪夫さん

朝方の3時、夜勤の察母が排泄介助をしていると

「あんたどうも寝らんじから大変じゃあなあ」と体の心配をしてくれました。

田北 カスエさん

「台風が来てますよ」と察母が伝えると

「みんなで、押しやんなあ」と笑いながら言われる。

三谷 高明さん

「三谷さんの名前が俳優みたいで、カッコイイと噂になってますよ」と職員が話しかけると「ほっほっほ」と笑っていた。

渡部 長義さん

昼食時に「渡部さん、元気ですか?」と声をかけると、ニッコリ笑いながら「元気です」と言われる。「笑ったらもっと男前ですね」と言うと、少し照れ笑い「そっかな」と言われた。

衛藤 千代子さん

テレビで女装した芸人さんを見て「この人、化粧が綺麗やな。上手や」と言われたので「男の人ですよ」と教えると「えーそっかな」とびっくりして目を丸くされていた。

高橋 アイ子さんと佐藤 ナミ子さん

高橋さんは夕食後ベッドに休んでいたが「夜は何かが来て襲われるかもしれないけん怖い」と言うので「また来ますから大丈夫ですよ」と察母が伝えると「本当にまた来てくれるん?」と念を押される。

それを聞いていた佐藤さんが「何かが来ても、何も怖いことねえわあ」と言われる。さらに「来たら来た時やわあ」とも言われる。佐藤さん、頼もしいですね。



後藤 千代子さん

「後藤さんの息子さん、優しくて二枚目ですね! 誰に似たんですか?」と職員が尋ねる。満面の笑みで「私! 私! あはっはっは」

衛藤 キヨ子さん

介助にあたっていた察母に「あんた、孫に似ちよんな」と話しかける。その察母が「お孫さんはかわいいんですね」と尋ねると、満面の笑みで「かわいごよ」と答えてくれました。

佐藤 ルリコさん

右上下肢の可動域内運動、マッサージを行い「終わりましたよ」と職員が声をかけると、「あ……」と口を動かかし声を出される。「もしかし、ありがとうと言おうとしてくれてますか?」と尋ねると、大きく頷かれた。

三代 キヨコさん

夜中の1時頃に訪室した際、目を開けられていたので「まだ1時ですよ。眠らないのですか?」と尋ねると「今まで眠ってたんで」と笑顔で言われた。

衛藤 八枝喜さん

離床の介助に行った際、「ひもじい」と言われるので、「何が食べたんですか?」と尋ねると、「んー(漬物)」と一声。

田部 八千代さん

「財布がねえ。どこに置いたかな?」

「何を買われるんですか?」と尋ねると、「やっぱり食べる物を買うけど、見てみらんわからん」と言われる。

「そうですね、私もいつも何も決めずに買い物しちゃいます。主婦は大変ですよね」と言うと「んーいっや」と言いつながら笑われる。

任運荘 大運動会 ご案内

●10月6日(日)9時45分～

(午前中までの開催予定です)

●開催場所：任運荘 ホール

※ご家族皆様のお越しをお待ちしております。



委員会報告

身体拘束

虐待防止委員会より

委員会が発足して12年が経過しました。身体拘束とは、利用者の安全を第一に考えやむを得ない場合のみ行われる「ミトン型手袋」や「立ち上がり防止ベルト」、「つなぎ服」、「ベッドの「4本棒」などです。

任運荘ではここ数年身体拘束は実施されていません。利用者に寄り添い、目を見てゆっくり話す「ユマニチュード」の技法を一昨年前に研修したことが良い結果を得たように感じます。

さて今年度は、全職員への指導、取り組みとして7月26日に「パーソン・センタード・ケア」認知症の方を理解する手がかりの勉強会をしました。まず始めたのが「気づきメモ投票」です。1人1日1枚を1ヶ月、必ず書いて投函するようにしました。そして先日、集計結果が出ました。「利用者ときちんと向き合う」目標が少しですが達成できたように思います。また「生涯担当」の役割の意識付けにも意味のある取り組みであったと感じています。

森 園美



寄り添いをテーマに



研修会の様子

任運荘 ミニ菜園

今年の『任運荘ミニ菜園』は、甘いイチゴと夏バテ防止にもなり栄養価の高いオクラを植えました。たくさん収穫できることを期待していたのですが、イチゴはあまり実をつけることはなく残念でしたが、オクラは立派に成長して、たくさん収穫することができました。収穫したオクラは厨房へ渡し、利用者の食事の食材として使いました。皆さん喜んで召し上がられました。

担当 宮崎 正規



収穫したオクラを眺める
古澤マチコさん。



ミニ菜園のオクラです。

★広報委員のひとり言

日本でラグビーのW杯が開催されており、各地で熱戦が繰り広げられていますね。私はラグーマンと体型(体重)は変わりませんが……。

さて、日本代表チームの快進撃には本当に感動させられます。アイルランド戦では、格上の相手に立ち向かって勝利をあげました。最高ですよ。『ワンチーム』で勝利を掴む日本代表に更なる干渉を送りましょう。そして、私たち任運荘も『ワンチーム』でさらにお世話の向上に努めましょう。